

令和6年度「あおもり創造学」プランの名称及び実施概要等

No	学校名	プランの名称	実施概要等
1	青森高等学校	Infinintelligence Research Program	「里山」「防災」「手仕事」をコアアイテムに設定し、「グローバル化」「健康と福祉」「教育・生活」「数理・情報」「環境・資源」の5分野からアプローチしながら探究活動の深化を図る。
2	青森西高等学校	「あおもり創造学」青森未来創造プロジェクト ～SDGsの視点で青森の未来を考える～	青森県津軽塗漆器協同組合連合会や青森市役所広報広聴課と連携し、SDGsの中で各自が興味・関心のある視点から、青森の産業が持続可能なものとして発展していく方策について他者と協働しながら主体的に考えていく。
3	青森東高等学校	E-pro 地域探究	将来の地域社会を形成していくリーダー的人材の育成を主眼に、地域課題について身近な自分の課題として捉え、主体的に探究していく。また、「E-pro 地域探究」を課題研究基礎として1年次で学び、2・3年次の課題研究へと発展させる。
4	青森北高等学校	「あおもり創造学」KITAプロジェクト ～地域の課題解決に向けて～	1 学年「～探究の型を習得する～」 【基礎】問題提起・整理、目標設定、情報収集・分析、解決策立案 2 学年では「～探究を実践する～」 【基礎+実践】実行・検証・改善、考察・まとめ、発表、論文作成 4つのフェーズ「K」「I」「T」「A」をとおして新たな価値を創造する。
5	青森南高等学校	南高のバトン	青森商工会議所やNPO法人等と連携しながら、近年、行ってきた白神山地区での英語ガイド、SDGsをテーマとした探究型コンテストへの参加、小学生向けの世界遺産検定教室開催等の取組を基礎とし、「南高」から「青森県」へ地域の魅力を発信し、県民愛の涵養を目指す。
6	青森中央高等学校	あおもり探究 - 地域活性化、魅力の再発見と創造 ～みつげる・かかわる・とびだす～	青森中央学院大学、青森市役所や青森市小牧野遺跡保護センターと連携し、青森市で暮らす「自分たち」として地域を探究し、様々な視点で再発見することで故郷を愛する心を育てるとともに、課題について考え、解決に向け実践する。
7	弘前高等学校	「あおもり創造学」弘前高校バージョン ～地域に根差したアイデンティティの形成～	1 年次のミニ課題研究等において地域の特色や課題について深く調べ、整理・分析し、新たな課題を見つけることにより、それを土台として2年次の課題研究に発展させる。また、「弘高ねぶた」に関わる諸活動を通して、地域に誇りを持ちつつグローバルな視点で諸課題を多角的・多面的に捉え、新たな価値を創造する。
8	弘前中央高等学校	「Sakura Time」	生徒自らが、居住地域や社会に目を向け、地域の課題について深く調べ、得られた情報や知識を横断的に整理・分析し、他者と協働することにより理解を深める力を高める。「自らの興味・関心×地域」に基づき、各自が立てた問いについて行動を起こすことにより、地域理解と探究に取り組む。
9	弘前南高等学校	南陵タイム「あおもり創造学」 ～身近なところからあおもりを考える～	身近な課題について探究する活動を通して、課題解決の手法を身に付け、それらを活用して自ら進んで社会と関わる。 1 年次：探究活動入門（探究方法を学ぶ） 地域の問題に関するアンケート調査実施、弘前市役所講演会、クラス発表会 2 年次：探究活動実践（課題を深く探究する） 前年度設定した課題について、情報収集・整理・分析、まとめ・発表
10	八戸高等学校	八戸発見学 ～地元の「強み」を見てみよう～	自校作成資料「はちのへ～その風土と生活」をもとに八戸地域の文化、産業、歴史等を学びながら、地元で活躍している企業の視察や歴史的地理遺産の見学を通して、郷土の現状を高校生の視点で捉え、地域の発展につながるアイデアを提案する。
11	八戸東高等学校	はちのへ創造学 ～地元のこれからのを考える～	大学・市役所の方から地域課題解決の方法と地域の現状を聞いて知識を深め、「農林水産」「医療福祉」「工業技術」「商業」「教育」「自然環境」「芸術スポーツ」「観光業」のテーマの中から一つ選び、各自で解決すべき問題点を考える。
12	八戸北高等学校	「あおもり創造学」in 八北 ～きざはしから見る八戸の未来～	八戸市、周辺市町村地域連携部、地域企業やNPOと連携し、地域が抱える課題を知り、その中から関心のあるものについて調査・研究し、解決策を考えていく。その活動を通して地域の魅力を再発見し、新たな地域社会を創造する力を身に付ける。
13	八戸西高等学校	「あおもり創造学」 ～八西から始まる地域課題解決ソリューション	生徒自身の居住地域、学校周辺、県南地区さらには青森県の現状と課題について知り、必要な情報を収集・分析し、大学教授、市商工会議所の担当者や県職員、保護者等と連携しながら、解決のための方策を考える。
14	木造高等学校	木造(きづくり)・人づくり・地域づくり ～「MAP(Mokko Asumiru Project)」～	つがる市の観光や文化遺産など、地域の課題を持続可能な開発目標に関連づけて考える探究学習にチームで取り組み、これからの社会に必要な国境を越えた地球規模の視野、草の根的な地域視点やコミュニケーション能力を身に付ける。
15	鱒ヶ沢高等学校	「鱒ヶ沢みらい探究」 ～鱒ヶ沢プロデュース 鱒ヶ沢町の課題解決への挑戦～	鱒ヶ沢町の農林水産課及び企画観光課、農園経営者、漁業関係者、畜産業者等と連携し、鱒ヶ沢町の発展的な地域づくりのために、生徒自らが地域資源の魅力や課題について体験活動を通じて発見し、魅力的な地域資源を継承するための課題解決に挑戦する。
16	五所川原高等学校	力行タイム「SD探究」	西北地区コンソーシアムにおける連携を生かしながら、五所川原の現状と課題を探り、SDGsを起点に個人と地域、世界と地域を結びつけ、持続可能な社会の構築を目指すことで、教科を横断した主体的かつ協働的な深い学びに取り組む。
17	黒石高等学校	「黒石の魅力の種を育てる」 ～地域探究から見つめる黒石市～	個々に設定した探究テーマに応じ、複数のコースに分かれて黒石市内外の施設見学やフィールドワークを行い、黒石市の魅力や個々のテーマに関連する取組を知り、比較検証することで、その違いについて理解を深める。これらのプロセスを経て、最終的に黒石市の長所、抱える課題とその解決方法、そして効果的な魅力発信の手法を探り、黒石の街を活性化するためにできることを高校生の視点から探っていく。
18	浪岡高等学校	「あおもり創造学」 空き缶でつながる、浪高と地域と循環型社会	地域への貢献意欲を高め、持続可能な青森県を支えることができる人財となるために、地域の風物詩として注目を集める「空き缶壁画」をとおして、青森市の循環型社会に関する課題について調べ、整理・分析し、本校と地域とのつながりを認識しながら、「空き缶壁画」が循環型社会について考える啓発活動の1つとなるよう、青森市の協力を得ながら学びを深める。

令和6年度「あおもり創造学」プランの名称及び実施概要等

No	学校名	プランの名称	実施概要等
19	野辺地高等学校	「野高コンパス」 自分らしく考える(オリジナリティ)力の育成を目指して ～地域の探究や防災の知識を生かした地域活性化に向けて～	野辺地町役場防災管財課と連携して、町で起こりうる災害と防災体制について学ぶ。常備用防災バッグの中身についてグループで協議したり、「地域みらいねっと」の代表者等を講師に招いて講演会、ワークショップを実施し、ダンボールベッド、テント等を用いて避難所について考えるなどして、防災の観点から地域活性化案を考案する。
20	七戸高等学校	柏葉から考える青森と私の未来	生徒個々が興味関心の高い分野別ゼミの内容から、通学地域や居住地域と結び付けながら地域課題を自事として明確化し、地域間比較を行いながら情報収集・整理・分析力を高める。また、フィールドワークや体験活動等を積極的に取り入れ、学びのP D C Aサイクルを繰り返し、主体的に学び続ける態度を身に付ける。
21	百石高等学校	総合的な探究の時間／課題研究	普通科は、探究課題を「地域」「キャリア」とし、生徒が自らの課題を設定し、自己の在り方生き方を考えながら、地域のために自分は何ができるのかを考える活動を行う。 食物調理科は、専門科目等での学習を活かし、これまでに身に付けた知識や技術を地域に還元するため、生活産業に関する課題を発見し、解決策を探る。
22	六ヶ所高等学校	「あおもり創造学」 ～ROHS [Rokkasho High School & Rokkasho Our Heritage Studies] 私たちの六ヶ所を受け継ごうプロジェクト2024～	将来、六ヶ所村周辺地域の産業を支えられるよう地域社会と連携しながら、探究の過程において課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けることにより、地域社会の特性を見だし、発展に寄与できる能力を身に付ける。また、生徒自身の日常における諸活動からテーマを見つけ、そこから仮説を立て調査し、情報を収集・整理・分析することで論理的にまとめ・表現する能力も身に付ける。
23	三本木高等学校	SANKO探究 ～青森県立三本木高校・地域探究プログラム～	十和田市商工会議所や多数の地元企業との連携、台湾台北市大理高級中学校との連携協定を生かし、地域の特色や企業のSDGsへの取組などを調べ、地域の魅力を発見する。一人一課題により魅力UPプランやアイデア企画書を作成し、発表・発信することにより、課題解決能力を養う。
24	三沢高等学校	「あおもり創造学」 ～モスプロでみさわを輝かせよう～	地域の現状を講義およびグループワーク等により理解を深め、持続可能な社会のため何かが必要かという視点でテーマを設定し、探究活動を行う。生徒自らが主体的に行動し、将来、地元に関わりながら地域に貢献したいという意欲や、様々な人や関係機関と交流し、協働する力、深く学ぶ姿勢を身に付ける。
25	田名部高等学校	「探究理解」～あおもり創造学～	むつ市出前講座や外部講師による講演会等を通して地域の課題を知り、地域課題について生徒同士で協議したり、グループでリサーチクエストと仮説を立て、仮説の検証のために生徒同士で協議したりして、調査(文献・アンケート・フィールドワーク等)・整理・分析を行い、居住地域の課題と結びつけて探究する。
26	大湊高等学校	「あおもり創造学」下北HEROES ～地域を活かすビジネスを考えよう～	独立行政法人中小企業基盤整備機構の起業家教育プログラムを活用したり、下北未来創造協議会を通して地域で活躍している企業にインタビューを実施するなどして、「自分には何が出来るのか」「どのような世の中になりたいか」「世の中で何が求められているのか」を考えながら地域課題を見つけ、解決していくための創造性・探究心、アイデアを具体化するための情報収集力、情報分析力、判断力、コミュニケーション力を身に付ける。
27	大間高等学校	「あおもり創造学」下北の底チカラ発見隊 ～北通り3町村編～	大間町、風間浦村、佐井村の北通り3町村を中心として、役場や地域の観光名所など、設定した研究課題に関連する場所でのフィールドワークを通じ、地域の現状について深く学び、抱えている課題について整理・分析の上、率先して解決策を提案する。
28	三戸高等学校	「三戸みらいキャンパス」	三戸町教育委員会の協力のもと、三戸町まちづくり推進課や八戸学院大学地域経営学部と連携し、クリエイターとともに地域課題の解決策を考え、地域活性化活動を計画し、地域の企業や団体と連携して地域活性化活動を行う。
29	五所川原農林高等学校	「地域 農業 SDGs」 ～課題解決へGO農～	地域に足を運び、関連機関と連携するなかで各科の特色に関連した地域の課題や魅力を再発見する。また、様々な活動から人と人とのつながりを知り、自己の在り方を見つめながら地元の未来を考え、活動を通して地域における五農の存在意義を見出し、そこで学ぶ自分の将来の可能性を探る。
30	柏木農業高等学校	柏農あおもり創造学 ～持続可能な地域づくりと郷土愛の醸成をめざして～	県内産業を支えることができる人財となるために、自ら地域課題を発見し、地元農家や企業、団体等と連携をとりながら地域農家における体験学習を通して、地域課題について把握実践的な取り組みをする。
31	三本木農業恵拓高等学校	三農課題研究 + 総合的な探究の時間	普通科は、地域の人々の安心・安全を守るため、指定されたテーマ(交通安全、火災予防等)から一つ選び、各テーマの課題を掘り下げ、地域や社会に関する課題を自分たちで発見した上で、アクションの計画を立て、実践する。 農業科は、地域で栽培・飼育されている動植物の栽培・飼育管理を通して、農畜産業の基礎的な知識や技術を習得し、農業を学ぶ意義と地域農業の理解、農畜産業が地域経済に与える効果を学ぶ。
32	名久井農業高等学校	課題発見力の強化 ～地域課題解決、未来につなげる活動を！	文献調査によって、先行研究や地域課題、最新技術などの情報から自身の力で解決に取り組むテーマを決定し、はちの八ワイナリー、八戸市農業経営振興センターの見学、地域課題解決に取り組んでいる団体等との交流や情報交換を通して、地域課題等の研究の深化を図り、地域貢献の意欲を高める。
33	青森工業高等学校	『あおもり創造学』 ～ものづくりを通じてわたしが 地元 にできること～	6学科の学びと技術的特徴を、ものづくりを通して地域に活用できる要素を模索するため、地域の方々や県内の関係団体・民間企業等の多様な主体から協力を仰ぎ、連携の必要性と重要性を習得する。また、このプログラムによって地域の課題と魅力に気付く機会を創出し、解決策を自ら考え実践する。
34	弘前工業高等学校	「あおもり創造学」 ～地域に愛される工業人を目指して～	地域の工場・施設・現場の見学、地域の企業におけるインターンシップ(電気科)や弘前圏域人口減少対策事業による講演会を通して、ものづくりの楽しさや素晴らしさを味わい、確かな工業技術を身に付け、県内における地域産業を支えることができる人財を目指す。
35	八戸工業高等学校	「あおもり創造学」地元ファンづくりプロジェクト ～技術継承で地域社会をつくる～	県内産業を担う人財として地域定着することを目指し、八戸市商工労働環境部産業政策等と連携し、高い専門性を有し社会貢献している県内企業との交流や、青森県職業能力開発協会等の熟練技能者による講習会を受講すること等を通して、地域の良さを確認し、県内就職への関心を高める。
36	五所川原工科高等学校	「地域のSDGs」 ～持続可能な地域を目指して～	人口減少が進み、将来多くの問題を抱えることが推測される西北五地域を支え、持続可能な地域社会をつくりあげていく人財となるために、地域についての理解を深め、様々な情報を収集し、考察して、実際に地域の課題の解決策を提案する活動を通して、卒業後も主体的に行動できる資質を身に付ける。

令和6年度「あおり創造学」プランの名称及び実施概要等

No	学校名	プランの名称	実施概要等
37	十和田工業高等学校	「県内企業の魅力発見」 —地域への貢献意欲の醸成、県内企業への定着促進—	県内企業調査および各企業に勤務する本校OBの話聞き、県内企業での就業体験および技術講習を行いながら、県内企業との連携事業を活用し、生徒が県内企業の魅力や実際に現場で必要な知識や技術を調査・研究する。
38	むつ工業高等学校	下北ジオパークからはじめる地域理解	むつ市のジオパーク推進課や防災安全課等の外部機関と連携しながら、下北ジオパークの概要を学び、自然・歴史・観光・産業等あらゆるものがジオパークを構成する要素であることを踏まえ、田名部まつりや大湊ねぶたまつりなどの地元のまつり、鉱工業、下北地域の自然や災害について探究する。
39	八戸水産高等学校	八水マリノタイム ～「海を知る 地域を知る 創造する」～	地域の水産業を支える人材となるために、八戸市水産事務所、八戸学院大学、八戸工業大学、種差インフォメーションセンターなど、地元の関係機関と連携を図りながら、水産業界の課題を捉え、学習している科目との関連を考え、進路達成や将来のキャリア形成に意欲的に取り組む。
40	青森商業高等学校	「あおり創造学」 青商生プロデュース！地域活性化プロジェクト	青森大学、青森中央学院大学、北洋硝子(株)、(有)松栄堂、企業組合あおり方華堂、(株)Revive等の外部機関と連携しながら、地域を「学びのフィールド」として実践的な活動に取り組み、郷土を愛する心を育むとともに、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力及びICT活用能力等、地域の活性化に貢献できる資質・能力を身に付ける。
41	弘前実業高等学校	各科の特色を活かした「地域課題の掘り起こしと解決法の提案」 (商・家・体のチャレンジ)	地元の産官学機関と連携しながら、各科の特色ある専門の見地から県内の現状や様々な資源(人・もの)に触れ、体験することで郷土に対する愛着や誇り、地域への貢献意欲の醸成を図り、将来、県内産業を支えることができる人材を目指す。
42	八戸商業高等学校	「あおり創造学」八商発！郷土愛 ～地域と共に～	将来、八戸市を中心とした圏域の地元産業を担う人財となるため、また、八戸圏域を離れた後も地元への愛着を持って定住地として選択できるように、生徒の生活圏における各種産業や地域事情による諸課題について調査、整理、分析を行い、主体的に問題解決に取り組む。
43	三沢商業高等学校	三沢市周辺地区の魅力大発信！ ～青森県の人口減少・少子化に歯止めをかけよう～	三沢市役所政策調整課、地域企業、地方自治体等の地元の外部機関と連携を図り、三沢市及び生徒の居住地に関する地域課題について調査した上で地域課題解決のための研究課題を設定し、生徒同士で協議しながら取材や調査研究などを行う。
44	北斗高等学校 (定時制)	「あおり創造学」 ～北斗「空に描こうあなたの夢(みらい)を」～	不登校を社会全体の教育問題と捉え、不登校対策に取り組む行政や外部団体等を調査し、そこから課題を見つけ、自分の考えを出し合いながら問題解決学習に取り組む。また、不登校及び不登校傾向の中学生の居場所の提供や支援を目的とした「北斗サタデースクール」や「北斗サタデーフォーラム」におけるワークショップに積極的に参加し、キャリア形成を図る。
45	八戸中央高等学校 (定時制)	地域連携と防災意識の向上	防災士の専門家の協力を得ながら、実際に地域住民と本校生徒及び教職員が防災訓練を通して防災に対する知識や判断力を向上させ、防災・減災に向けた取り組みを行う。また、防災訓練を検証し、防災学習、地域調査等を通して自身や津波に対する関心を深めるとともに、規律を保ち迅速確実に行動し、生命の安全を守ることを地域と学校のみならず、自分が住んでいるエリア地域でも対応できるようにする。
46	五所川原高等学校 (定時制)	「あおり創造学」五高(定)バージョン ～五所川原魅力再発見～	五所川原市、五所川原青年会議所、奥津軽虫と火まつり委員会等の外部機関と連携し、五所川原市の魅力や地域課題に対する取組を外部講師から聞き、生徒同士で協議し、整理・分析して、地域課題を自分事として考えられるようにする。
47	尾上総合高等学校 (定時制)	「あおり創造学」地域の魅力再発見 ～地域とともに目指す自己実現～	大鐺町民生委員、あおりCAPの会、Asobo! Hirakawa、田舎館村役場等の外部機関と連携しながら、生徒自らが地域の産業や課題について調べ、内容を精査しながら解決策を見出し、言語化し発表することで地域とのつながりを意識し、自己実現のための生き抜く力・切り拓く力を身に付ける。
48	三沢高等学校 (定時制)	「あおり創造学」三沢高(定時制)	三沢市役所、地域企業やNPOと連携しながら、地域課題解決等に取り組んでいる団体の代表者等を講師に招き、講演会やワークショップを実施する。そこから収集した情報などから研究課題を設定し、グループ協議やフィールドワークによる聞き取り等を行い、他自治体等の施策や取組を調べ比較・整理・分析する活動をとおり、キャリア形成を図る。
49	田名部高等学校 (定時制)	「あおり創造学」まさかりの魅力を発見 ～下北を持続可能な社会に～	青森大学むつキャンパスの訪問や講義体験、恐山周辺フィールドワークや郷土料理体験に取り組みながら、下北の豊かな自然や歴史に触れ、それらを活かした観光や産業の現状を学び、自ら進んで課題を見つけ、解決策を考察する。また、地域の様々な職業人と出会い、多面的な観点から下北地区、青森県の魅力を発見する。
50	北斗高等学校 (通信制)	「あおり創造学」 ～あなたにできる地域貢献～	地域課題解決等に取り組んでいる団体の代表者などを講師として招き、ワークショップ等を実施し、自分が地域のためにやってみたいことについてワークショップを作成する活動等を通して、青森県で学ぶこと・働くこととその課題について調べ、整理・分析し、進路達成やキャリア形成に主体的に取り組む。
51	八戸中央高等学校 (通信制)	郷土についてより深く知る	青森県の自然・産業・文化・歴史等について、インターネットやフィールドワーク等を利用して調査し、私たちが居住する青森県の魅力を多面から見だし、郷土について基礎的な知識を身に付け、郷土の発展に寄与する態度を身に付ける。
52	尾上総合高等学校 (通信制)	「O ₂ プロジェクト」(オーツープロジェクト)	地元のイベントである「田んぼアート」の田植え・稲刈りへの参加や、田舎館村埋蔵文化財センター・博物館の見学により、歴史や産業について学び、地元の歴史や伝統、特産品等に興味・関心を持ち、行事への参加や地元で活躍する方々との触れ合いをとおして、地元の魅力を発見し、地元への理解を深める。